

大島貞益 おしまさだえき 經濟學者。弘化二年一月十七日但馬國生れ、大正二年十月十九日歿（六五—九四）。幼名益二郎。號煮海居士、石華、石華散人、石華老人。明治二十二年富田鐵之助等と國家經濟會を設け、また、「東京經濟雜誌」の「保護貿易論」を連載した。

譯著書 『百科全書之中 教學必要・卷之壹』 洋教宗派（回教及印度教佛教）□（若山儀一）

合譯・久保吉人校・水溪智應編、明治十八年四月無外書房）、弗勒得 フレデリック

力、李士德著（サムプソン、エス、ローネド英譯）『李氏經濟論』全

二冊（譯、明治二十一年十二月六日日本經濟會。第一版—全二冊—）

十八年十月）二十一年渡邊書房）、巴爾克著 バルク 『巴爾克氏戰術・卷壹』（譯、

藤井茂太校正、明治二十五年八月陸軍大學校）、『辛夷莊詩抄』（明

治四十四年八月二十日印刷、神奈川・自刊）、『情勢論』（木庄榮治

郎解題、昭和十八年八月十日日本評論社「明治文化叢書」）等。

西田長壽著『大島貞益』（昭和二十一年十一月二十日實業之日本社「日

本の經濟學者・人と學說」）刊。

